



令和7年度 春の交通安全県民運動

運動の重点

4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間
4月10日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」

- 1 子どもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用の促進と交通ルールの遵守の徹底



やまがた自転車ヘルメット着用推進キャラクター↑

あなたが望まない性的な行為は どんな理由・相手でも性暴力です！

若年層に対する性暴力の手口が巧妙になっています。

SNSで知り合った相手から、言葉巧みに誘導され、自分の裸の画像を送信させられたり、わいせつな行為をさせられたりする等のSNSを利用した性被害が起きています。

【困ったときの相談窓口】

- 性犯罪被害相談電話
#8103 (ハートさん)
- 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター
#8891 (はやくワンストップ)



性的な行為、あなたの同意がないならそれは性暴力

春の行楽における遭難防止

- 慣れた山でも家族等に行き先を必ず告げて、複数名で入山しましょう
- 携帯電話を持ち、居場所が分かるようにGPS機能を有効にしましょう(予備バッテリーも持ちましょう！)
- 道に迷ったら来た道に戻り、分からなければ見晴らしの良い場所で救助を要請しましょう
- 急斜面は滑落しやすいので、ヘルメットや命綱を使用しましょう
- 短時間の入山予定でも、食料や水のほか、天候の急変に備えて雨具や防寒具を準備しましょう
- クマとの鉢合わせを防ぐため、クマ鈴、ホイッスル、ラジオ等を携行しましょう
- スマートフォン用の登山アプリやオンライン登山届システムを積極的に活用しましょう



受験案内は4月25日から配布！

笑顔が
そばに
ある仕事

山形県警察官募集
023-625-0871

両羽交番からのお願い

4月は新生活等で道路の流れも変わります。「いつもと同じ道だから大丈夫」ではなく、常に気をつけて車を運転しましょう。また、強風によるドアパンチも起こりやすい時期ですのでドアを抑えながら開ける等、対策を行いましょう。



「対面会話」を通して、子ども達の社会力づくりへ

～地域の小学生と大人との対話会～

令和6年10月16日(水) 松山小学校

「文明の利器」、賢い利用の呼掛けを！

会長 宮田 浩一

スマホ使用のトラブルが多方面で問題となっている今日、内閣府等は県を窓口にて「ネットの危険からお子様を守るために今、保護者が出来ること」や、子ども家庭庁等は「ネット・スマホ活用世代の保護者が知っておきたいポイント」～子どもたちが安心して楽しく使うために～として各々A3両面カラー刷りパンフレットを関係者に配付しており、私はいじめ防止標語募集時等には小～中学校への配付とこの資料の活用をお願いしながら、折々の話の中での有効活用を図って広く情報の共有と実践の活動をお願いしています。

ある新聞に、ついついスマホ…脳にどんな影響が？という見出しで、オーストラリア政府はついに16歳未満のSNS規制に乗り出すという記事が「わかつちやいるけど手放せないスマホはどこまで脳を壊すか」というタイトルで、ある脳科学者のコメントを掲載していましたし、また「闇バイト」SNSでつながっただけの見知らぬ者同士が何のうらみもない家に押し入って凶悪犯罪に手を染め、主犯格は仲間にも顔を見せない実在不気味な世の中になってしまったとか、また国では闇バイトによる強盗事件の多発からSNS事業者の問題のある募集投稿の削除を促して未然防止を図る他に、アカウン卜開設時の本人確認の厳格化を要請する事になったとの報道や、警官を名乗っての金地金詐欺にロマンス詐欺や高齢者の身元保証と死語の事務手続きを家族に代わって担うサービスを巡ってのトラブルが多発して消費生活センターへの相談も急増し、監督官庁がないために対応に苦慮している等の記事が掲載されました。

私は機会ある毎に記事をスクラップしていますが、お互いが常に情報に目を通して我が事と捉え、いろいろな機会を通して出来ることから対応していこうではありませんか！

総会研修会

令和6年6月5日
酒田市総合文化センター

「SNS安心安全講座」 「ネット社会の子どもたち・何が問題なのか」

講師 ● 酒田市青少年指導センター専門指導員 渡邊 幸二先生



を作成しての出前講座を数多く実施しています。

その中で、児童や生徒と保護者やPTAを対象にした「SNS安全教室」は低学年と親や地域の方向け、「子育て講和」は子どもを伸ばすほめ方や叱り方、子どもをしつけるのは何のため、という内容で参加される対象をより広くしています。

酒田市青少年指導センターは、明日の酒田を担う青少年が心身共に健やかに成長する事は全ての市民の願いであるとして、設置の趣旨に基づいて関係機関や団体と連携しながら、非行防止や健全育成等の活動を総合的・計画的に企画立案して事業を推進していく事を運営方針に掲げて活動を展開しています。

今日、学校では円滑な授業運営を目的にタブレットを使用しますが、一方では児童や生徒に禁止のゲームにも利用され、さらにはスマホ使用での児童や生徒の被害が増加傾向にあるため、いろいろな事例を元にしたパンフレット

会員研修会

令和7年2月7日
酒田市総合文化センター

「青少年の消費者トラブル防止」 「対処法と見守りのポイント」

講師 ● 山形県庄内消費生活センター消費生活相談員 伊藤 美紀氏

「若者・青年に多いトラブルと見守りのポイント」について、初めに消費生活相談における18歳・19歳、20代、30代の相談の状況(全国、令和6年報道発表)をお話いただきました。

その相談の内容(商品・業務)では、脱毛エステ、架空請求、内職・副業、出会い系サイトなどが上位にあり、とくに「美」と「お金」に関する相談が多い。相談事例①として、エステ

サロンに予約したら、広告のひげ脱毛に高額な料金で契約させられた。クリーニング・オフしたいがどうすればよいか。「美」については男性の相談も多いという。「クリーニング・オフ制度」は契約の申し込みや締結



をした場合でも一定の期間内であれば無条件で撤回や解除することのできる制度。この制度が認められているのは、訪問販売、電話勧誘販売、マルチ商法、訪問購入、エステ・学習塾・英会話教室など。クリーニング・オフの方法についても詳しく紹介があった。通信販売(ネット通販など)にはクリーニング・オフ制度がないので注意(詳しくは消費生活センターへ)。

事例②では、検索サイトで探した副業で、高額のマニユア購入代金を請求された例など。県内でも被害があった。近年は、闇バイトに引き込まれる事例もある。個人情報情報が盗まれるフィッシング・サイトもある。

若者・青年の見守りとしては、会話や表情の中での気づき(日常生活での変化)と声かけが重要。トラブルかもと思ったら、消費者ホットライン ☎188(イヤヤ!)にまずご相談を。

【活動紹介】 酒田ロータリークラブ



会長エレクト 高橋 弘哉

当会は、社会奉仕を行動の指針とする国際的社交団体で、大正5年にアメリカで誕生、同12年には国際組織となって東京でも組織化されて全国に広まりました。会の名称は、構成員が順番に会場を受け持つことから歯車Ⅱ輪番を意味します。

主な活動は、会員のロータリーアンが30歳までの青少年の多様なニーズ(基本的に健康・人間の価値・教育・自己開発)を認識して、よりよい未来を確実なものとするために、彼らの生活力を高めることで将来への準備をさせることです。

「新世代のための会議を企画」し、地域の指導者が青少年との話し合いの場を設けて、彼らの関心事や希望と夢に抱負等を語り合ったりすることがポイントとなり、そのための「青少年奉仕」の各プログラムには「青少年指導者養成」や「青少年交換留学」等があり、常に会員同士での情報交換による学習の機会を増やして青少年の健全な育成につなげています。

小学校の児童と大人の対話会 今年も和やかな雰囲気の中で開催

県内では当会のみが継続して実施中の「第3日曜日家庭の日」をテーマにしたこの事業を、内郷と地見興屋の各小学校と統合なった新松山小学校6年児童にその保護者を対象として行いました。



10月16日、松山小学校6年生を対象に初めての授業参観日を利用した対話会が学校側から佐々木校長先生に伊藤教頭先生と6年担任の信夫先生、児童17人とその保護者に庄内支庁青少年専門員の齋藤先生と当会の総勢37名の参加で行われました。

今回のテーマは
①家族や地域の人達との普段からの挨拶や会話
②家族の一員としての自覚を持つための家でのお手伝い
③家族そろっての自治会や子ども会といった地域活動への参加の3項目を中心に、家庭で話し合ってアンケートにまとめた内容を中心に当会が進行を担

当、参加者全員が話せるよう6テーブルに分かれての進行となりました。

その内容としては、児童からは家では毎日挨拶を交わし、自分でやれる範囲でのお手伝いをしたり、通学距離は統合のために夫々違うが、元気に楽しく学校生活を送っている。自治会活動にはなかなか参加出来ないが、子ども会行事には出来るだけ参加等の話がありました。

保護者からは子ども達は毎日元気に学校生活を送っており、挨拶や会話に手伝いは普通だが、中学に入ると子ども自身も変わっていくので声かけを増やしていきたい。ケータイやスマホを持たせる際はいろいろな事案を話して問題が生じないように約束を決めたい。いじめはされてイヤな事はしないように教えている等が話し合われました。

青少年専門員の齋藤先生からはLINEやメールといった文字だけのやり取りではなく、顔を合わせて自分の考えを言った「今」を頑張る事が大切等といった講評をいただきました。

いじめ・非行をなくそう県民運動、募集標語の選考結果

「学校や家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会を目指す県民運動」の一環として、今年も市内の小中学生にいじめの防止・根絶に向けた標語を募集しました。数多くの素晴らしい作品が寄せられ、選考の結果、次の15点が特に優れた作品として表彰されました。

庄内地方青少年育成連絡協議会
優秀作品(1点)

やさしい声かけ
やさしい笑顔
やさしい心で
みんなハッピー
南平田小学校・5年 千葉 雅春

庄内地方青少年育成連絡協議会
優良作品(4点)

笑う 笑え 笑おう
みんなでつなぐ
笑顔のかけ橋
若浜小学校・1年 佐藤 香凛
1に考え 2に決意
すぐに行動
いじめストップ
西舞瀬小学校・5年 堀 錬斗

庄内地方青少年育成連絡協議会
佳作作品(10点)

こころのちよきんばこ
ふわふわことばで
いばいにしようね
亀ヶ崎小学校・1年 田賀 楓乃
やさしさで
まもろうえがお
まもろういのち
松陵小学校・1年 石堂 凜音

広げよう
笑顔あふれる
明るく未来
広野小学校・1年 安藤 優音
あいさつで
えがおあふれる
なかまのわ
十坂小学校・2年 佐藤 璃緒

「いっしょだよ」
つなぐ手と手
うまれるゆうつき
若浜小学校・3年 住石彩月

「思いやり」
心と言葉の
キャッチボール
亀ヶ崎小学校・4年 渡邊 侑己
ワハハ
ニコニコニコ
楽しい毎日
浜中小学校・4年 成澤 月心

思いやり
広がる笑顔
心の輪
富士見小学校・5年 堀 陽葵
咲かせよう
優しい言葉で
笑顔の花を
第六中学校・2年 大場 結衣

みんな友達 みんななかま
みんなの笑顔が私の笑顔に
鳥海八幡中学校・3年 佐藤未七海

どんなときでも
たすけ合う
そんな仲間に
なりたいね
浜中小学校・2年 小林 みこ



県少年健全育成 県民大会

中村文昭氏



10月27日、村山市民会館にて健全育成活動に関わる関係者が参加しての「いじめ・非行防止セミナー」が開催され、青少年を地域で見守り・育み・支援する運動の輪を広げていく大会宣言が承認、少年の主張県大会で最優秀賞に輝く白鷹中学校3年井上愛奈さんの生まれながらの難聴克服を内容とした「障害を乗り越えて」の発表後、特定非営利活動法人クリエイトひがしねの三浦理事からの「子どものウェルビーイングを求めて」の題での事例発表に続き、クロフネカンパニーの中村社長による「でっかい子育て人育て」の題での記念講演があり、これまで900人以上の引きこもりの少年達と関わってきた経験から、「何のために」生まれ、「何のために」生き、「何のために」やるかが大切だとの情熱のこもった熱氣溢れる内容でした。

庄内青少年 健全育成研修会

10月5日、酒田市公益研修センターを会場に庄内地区持ち回りでの研修会が開催され、共に学び合いました。

山形まる語学校代表の菊地先生より「言葉」は人を幸せにするための贈り物、思いやりの言葉「まる語」の演題で、言葉をまあるく変えれば人間関係もまあるくなるよという人間味溢れる素晴らしい講演をいただきました。

事例提供は酒田市立第三中学校生徒会の皆さんより「地域で生きる一人として主体的に地域と関わる」3コマ活動とマコモ植栽ボランティアを通しての発表に続き、「笑顔あふれる『学びと遊びの楽校』を目指して」地域共有の推進の題で酒田市松陵学区コミュニティ振興会の「学びと遊びの楽校」の久保運営委員長より地域における子ども達に関わる大人の在り方を学ばせていただきました。



酒田南高校生徒会 との紙面対話会

今回は酒田飽海地区高等学校生徒指導連絡協議会の当会担当校である酒田南高等学校生徒指導と生徒会の両ご担当教諭のご了承をいただき、11名の生徒会役員を対象に通学圏が広い事から紙面形式にて自画撮り被害防止・子どもネット1日4時間・子のゲーム料金請求が100万円で親は仰天・SNSに起因する子どもの犯罪被害等の新聞切抜を提示して返答をいただきました。

設問は学校生活・家庭生活・地域活動・交通安全・文明の利器スマホの利用・公益の心を育むためのボランティア活動・自分の将来・大人や社会や酒田市への要望といった内容です。

真面目に高校生活を送られて次の進路に向かって頑張っている姿を感じ取れ、文明の利器スマホもうまく活用する事で限りある時間の有効活用を図られており、市へは活気溢れる街造りのために高校生との意見交換会の要望もありました。

これからの有意義な人生を送られるようさらなる精進を期待しております。

市立泉小学校での 夏・秋の街頭啓発



次世代を担う青少年の健全な育成を目的として、例年内の小学校において街頭啓発活動を実施しています。

今年度は、泉小学校の児童を対象に、7月と11月の2回それぞれ「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「秋のこともまんなか月間」の一環として取り組みました。

当日は、育成活動部員を中心に、学校の昇降口前でのほり旗や横断幕を掲げ、下校する子どもたち一人ひとりに声をかけながら啓発チラシとティッシュを配付し、安全で楽しい夏休みにするために約束事を守ること、知らない人にはついていけないこと、携帯電話やインターネットを使うときはおうちの人と決めたルールを守ることなどを呼びかけました。

編集後記

令和6年7月25日に発生した豪雨災害では、酒田市内でも大きな被害が出ました。まだまだ完全復旧には至っていない現状に心が痛みます。一日も早い復旧を願っています。

災害直後の復旧には、市内のみならず県内外から数多くのボランティアの方々が駆けつけ、中には中学生や高校生、大学生の姿も見られました。災害時には、「自助」「共助」「公助」の連携が大切だと言われていますが、正にその「共助」の力は不可欠だったのでないでしょうか。

酒田市総合計画の政策の一つに、「公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち」があります。本会がその「助」となれるよう、これからも励んでいきたいと思います。

ご多用の中、執筆してくださった皆様に心より感謝申し上げます。(小林)

広報部員名

- 部長 阿部 武(NPOがくほれん)
- 副部長 庄司 豊(酒田港ロケター)
- 部員 宮田 浩(酒田市子連)
- 同 小林 伸(酒田小学校校長)
- 同 高橋 正知(庄内高校PTA)
- 同 齋藤 均(青少年育成推進員)
- 同 佐藤 亮(酒田市倫理法人会)
- 同 須田 正明(私立幼稚園連合会)